

子どもも地域も 元気にいきいきと！

わがまち流 土曜日 活用術

完全学校週5日制が実施されて早や5カ月。県内の各市町村では、毎週休みとなった土曜日を、子どもたち、そして地域のために有効に活用しよう、独自のやり方でいろいろな取り組みが行われています。

日頃学校では学べない、体験できないようなことを学校や家庭、そして地域が一体となってい、子どもたちが自ら学び自ら考える機会を創ることにより、一人ひとりの個性ある豊かな感性を引き出す、それが土曜日活用の共通テーマです。

県では、こうした地域の取り組みを応援するため、**「家庭と地域は大きな教室」**をキャッチフレーズに「子どもプラン in わかやま」を策定し、地域で子どもを育てる環境の整備や子どもたちの体験活動の機会を充実させる様々な支援事業を行っています。

子どもたちはもちろん、地域も元気になる、そんな「わがまち流 土曜日活用術」をレポートします。



子どもたちのことが
うらやましそうなお母さんは…

いつもすごく楽しそうで、
次回のレッスンが待ち遠しいみたいです

インストラクターのお姉さんは…

ほとんどの子どもたちは皆勤です。
1曲全部を全員で踊れるようにしたいです

子どもたちは…

全員が口をそろえて一言。

楽しい!!

歌手になりたいので、
歌のレッスンもして欲しい
数年後、村出身のダンサーや
歌手が誕生しているかも？

南部川村では、第1と第3土曜日、子どもたちを対象にジャズダンス教室を開催。

英会話教室（金屋町生石公民館）

鷲ヶ峰の麓、有田川沿いにある金屋町生石公民館では、公民館主事の尾根哲男さんが、これからの国際化時代に備え、小さい頃から英語に接して、外国人とでも、物怖じせず（ものおそ）に平気に話ができるようにと考え、6月から英会話教室を開催しています。現在、鳥屋城小学校に通う高学年の10人が毎週土曜の朝、この公民館にやってきます。



教室では、尾根さんの奥さんと、小学校教諭の敬子さんと湯浅町在住でイギリス留学の経験をもつみはま養護学校講師の亀井 知さんが、ボランティアで講師を務めています。

9時から始まる教室では、前半1時間の教室を亀井さんが担当、先生も子どもたちもお互いに、ところどころに英語を交え、カードを使ったり、英語の歌など、楽しくにぎやかに学んでいます。

亀井さんの授業が終わり、教室から畳の大広間に移動して、尾根さんが担当する英語ゲームの開始です。フルーツバスケットや座布団ゲーム、買い物カードなど、すべて英語の単語を使ったゲームにもかかわらず、外国の言葉という意識はまったくなく、純粋に英語を楽しんでいる様子でした。「中には、通っていた塾をやめてもここには熱心に通ってくれる子や、ここに来るまで内気だった子が社交的になったりと、私たちも喜んでいます。これからは、知り合いのコンゴや韓国、イタリアの人たちもここに連れてきたいと思っています」と、子どもたちの元気に刺激されてか、尾根さんの笑顔がさわやかでした。



わがまち流
土曜日
活用術

県内の主な特色ある取り組み

民謡講習（和歌山市）、お菓子づくり（海南市）、昔遊び体験（田辺市）、図書館司書体験（下津町）、アスリートクラブ（野上町）、炭焼き体験（桃山町）、根来塗体験（岩出町）、フラワーアレンジメント（かつらぎ町）、百人一首教室（金屋町）、スポーツクライミング（美浜町）、パッチワーク教室（南部町）、おもしろ科学教室（南部川村）、野菜づくり体験（白浜町）、茶道教室（太地町）
各界で活躍の卒業生が講師を務める「海草・向陽塾」（県立向陽高校）

学校を公開します。 お気軽にお越しください。

学校開放週間

11月10日(日)～16日(土)

県内の公立の小・中・高等学校、県立の盲・ろう・養護学校では、保護者や地域の皆さんに学校への理解と関心を深めていただくため、上記の期間を中心に、授業や学校行事などを公開します。

各学校では、この開放週間の実施に併せ、授業の公開だけでなく、講演会や地域の方の作品展示など各地域の特色ある行事を予定しています。

これを機会に、是非学校にお越しください。

※学校によって実施する日や内容が異なりますので、詳細は各学校にお問い合わせください。

問い合わせ

県教育委員会学校教育課 ☎073(441)3662

親子で介護を学ぼう（和歌山市有功東小学校）



午前9時、小学校の体育館に保護者

と子どもたちが三々五々集まってきて、気がつく、なんとお母さんたち（お父さんもわずかではあるが参加）と子どもたち、そして校長先生、教頭先生も加わって総勢70数名が勢揃い。

この日は、校区内にある特別養護老人ホーム「紀伊松風苑」のスタッフが、車椅子や介護ベッドなどを運び入れ、本格的な講習会となりました。

前半は大人と子どもに分かれ、大人が介護保険についての勉強会をしている間、子どもたちは、車椅子の扱い方などを学びました。子ども相手ということもあって、スタッフも、わかりやすいように、遊び感覚で楽しく教える反面、段差があるところなど、重要

なところでは、真剣な面もちで指導に当たっていました。その後、親子みんなが一緒になって、身体の動きなどが自由にならなくなる高齢者疑似体験システム装具を身につけたり、おむつの交換方法や身体の起こし方など、大人も子どもも日頃体験できない有益な時間を共有していました。

お母さんたちは、「日頃こんな機会も少ないので、貴重な体験をさせてもらった」、「子どもたちがお年寄りや介護に興味を持ってもらえれば」と歓迎ムード。一方、子どもたちからは、「お年寄りの大変さがわかった」、「これから役にたつと思う」など、頼もしい返事が返ってきました。



手話・点字教室（田辺市末広児童館）

扇ヶ浜のすぐ近くの末広児童館では、月1回手話・点字教室が開催されています。この日の生徒は、小学生16人とお母さん2人。

この教室では、ちょっと変わった学習方法が取り入れられています。講師の浦紀美子さんが独自に考案したもので、点字板を使い、点字を数字で覚えながら、手話も同時に覚えるという方法です。子どもたちもお母さんも、真剣な眼差しで、点字板を抑え、数字を読み上げながら、台紙に鉄筆を次々と打ち込んでゆきます。

浦さんは、決して子どもたちに強制はしません。「覚えなくていいんです。これをやっていれば、自然と身につきます。自然体で覚えることで、これは簡単、誰にでもできる」と思うようになるんです。自然体で身につければ、身体の不自由な方とも自然体で接することができるようです」と子どもたちの様子を見守りながら話していました。

参加していたお母さんも、「前からやりたかったのだけれど良かった」「先生の話も楽しいし、わかりやすい」「一人ひとりのペースに合わせて教えてくれるので安心」と評判も上々。一方、子どもたちは、「難しいけど、楽しい」と言いながらも、家で練習するために、点

字板を持ち帰る子どももいました。この児童館では、ほかに、県内では珍しく中学生を対象に、カヌーづくり教室を行っています。11人の中学生が約2カ月かけて、2人乗りのカヌーを共同で仕上げ、8月に無事進水を果たすことができました。児童館の田中館長は、「土曜日の行事は保護者からも大好評です。今後は、この児童館OBの中学生や高校生がもっと参加できるようなことも考えたい」と意欲満々でした。



問い合わせ

県教育委員会生涯学習課 ☎073(441)3722

高齢者の生きがいと健康づくりをお手伝い

その名も

その1

わかやまシニアカレッジ

講座の受講等を通じて、さまざまな分野の教養や技術を身につける機会を提供します。

和歌山校、田辺校に加え、9月から新たに新宮校を開校します。

毎年2月頃に受講生を募集

●入学資格

県内在住の満60歳以上で、講座に出席できる健康で学習意欲のある方

●受講期間・開講日数

4月～翌年3月にかけて月2回程度・年間計19講座を開講

●講座内容(一部)

「知って得する税知識」「身近な地域活動(ボランティア)」「文学から見た熊野」「高齢者のための交通安全」「健康・食生活」「消費者被害の防止」など



私も参加しています

山本孝男さん 92歳 和歌山校

山本さんは受講生中、最高齢の92歳。昨年度は教養講座全19講座を皆勤され、引き続き今年度は、新たに開講した専門講座のうち「健康・福祉コース」を受講されています。



ーシニアカレッジの感想をお聞かせください

「今、世間で起きていることや健康のことなど、いろいろ教えてもらえるのが良いですね。私は毎日が日曜みたいなのですから、ここへ出てきて、みなさんと話をすることがとても楽しいんですよ。」

その3

サラリーマン退職者等イベント

企業等を退職された14人のメンバーで構成する運営委員が企画・実施する、サラリーマン退職者等の健康・生きがいづくりのためのイベントです。

13年度には18のイベントに、合計642人の方々が参加(申込者数は1,295人)されました。今年度は「県内の名所散策」や「着付け教室」、「ロープの結び方教室」等を実施しています。

イベントごとに新聞等で参加者を募集しています。

折り紙教室(7月23日開催)



定員の2倍を大きく上回る応募があった折り紙教室。会場の声を一部ご紹介します。

「折り紙をするのは、半世紀ぶりです」と男性の参加者。折り方の説明書きはあるものの、多くの方が悪戦苦闘の様子で、3人の先生にもあちらこちらから「すみません。

ここはどう折るんでしょう」と質問の声がかかります。「小学2年生の孫の夏休みの工作に役立つかと思って参加しました」と話す優しいおじいちゃん。「苦労してつくったカブトは、ケースに入れて家に飾っておきます」と満足そうに話してくれる女性の方。「最初は一人で参加する人も多いんですが、ここで知り合って友達になるのが、また楽しいんです」と、このイベントの魅力を語ってくれた方の言葉が印象に残りました。

問い合わせ

県いきいき長寿社会センター ☎073(435)5214

〒640-8319和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛7階

県庁長寿社会推進課 ☎073(441)2521

9月は「^き喜の国いきいき長寿月間」です

超高齢社会を迎えた今世紀。高齢者のみなさんが、スポーツや文化活動、趣味・娯楽などを通じて多くの人と交流し、生きがいを持って健やかに暮らせる社会をつくることが、県民共通の願いではないでしょうか。

「財団法人和歌山県いきいき長寿社会センター」では、そんな活力ある長寿社会の実現を支援するため、さまざまな事業を行っています。

ここでは、その主な事業の内容と参加者の声をご紹介します。高齢者のみなさんのご参加をお待ちしています。

その2

喜の国 いきいき健康長寿祭

スポーツや文化活動に親しむ機会を提供します。

事前に「県民の友」等で参加者を募集しています。

①スポーツ交流大会(5～6月頃)

グラウンドゴルフ、パタンク、卓球、弓道、テニス、ソフトテニス等

②シルバー囲碁・将棋大会(6月頃)

③シルバー美術展(2～3月頃)

絵画、手工芸、書、写真



私も参加しています

梅村善行さん 66歳

スポーツ交流大会(弓道の部)

梅村さんは、今年5月に和歌山市内で開催された「喜の国いきいき健康長寿祭 スポーツ交流大会(弓道の部)」で上位入賞され、10月に福島県で行われる全国大会に出場されます。



この大会には、和歌山県から梅村さんのほか各種目総勢約120人の方々が参加する予定です。

ー弓道について一言お願いします

「60歳代になると弓の勢いは確かに落ちてきますが、その一方で、弓を射る姿・形に品格のようなものが出てきます。身体だけでなく、精神の状態が形に現れるんですね。それと、矢が的に当たるポンという音が、何とも心地いいんですよ。」

ー「スポーツ交流大会」の魅力とは何でしょう？

「仲間と共通のことをやるというのがいいですね。私の場合は弓ですが、弓を一人でひいていてもつまらない。みんな集まって練習するから楽しいですね。テニスでも何でも、自分が“これならできる”と思うものを、とにかくやってみることが大事です。」

県高齢者総合相談センター

【シルバー110番 ☎073(435)5212】

一般相談(生活、福祉、仕事等) 9:00～17:00 月～金曜

専門相談 13:30～15:30 *電話予約必要

法律 第3金曜

医療 第2水曜・第4木曜

理学療法 第1・第3水曜

栄養 第2・第4金曜

年金保険 第2・第4火曜

税金 第3火曜

住宅 第1・第3月曜

保健 毎週 月・水曜 9:30～16:00



老人の日・敬老の日

いきいき電話相談！

あなたの悩みに専門家がお答えします。

9月15日(日) 10時～16時

0120-730-465 (無料)

防災
特集

巨大地震・南海地震 と巨大津波に備える

発生確率
40~50%!?

この東南海・南海地震の発生に備えて、県内では、住民が主導で自主防災組織をつくり、地震・津波の自主研究など熱心な活動をされている方々がいっぱいいます。ここでは、そうした地道な活動や地震・津波の見張り番でもある気象台の情報発信の実際を紹介するほか、防災一言アドバイスもいただきました。

自分たちの命は 自分たちで守る

〓御坊市塩屋町北塩屋地区自主防災会〓



日高川河口の南側に位置する御坊市塩屋町北塩屋地区。過去の地震で、津波被害を経験しているこの地区では、住民が率先して防災活動に取り組んでいます。現在、地区の役員を務める木村三樹夫さんと野村忠司さんに自主防災会の活動についてお話を聞きました。



日頃は、月1回、消火器やポンプ、レスキューキットなど防災機器の整備点検を行うとともに、今年からは、春と秋に自主的に避難訓練を行うことにしました。

4月に、地区の270世帯から260人が参加して、初めて避難訓練を実施しました。この訓練の結果、住民の意識が高まったのはもちろんですが、夜間の避難や避難経路、高齢者の誘導など日頃気づかない問題点が判明したほか、各家庭でも、地震や津波の話題が出たり、近所の駄菓子屋さんで、乾パンが売り切れるなど意外な反響もありました。

この避難訓練では、各世帯の家族状況をまとめた住民台帳を作成したの、ではじめて地区住民の現状が把握できたり、日頃会話のない若者と高齢者が言葉を交わすなど、世代を超えた交流の場にもなったりと、地域にとっても成果がありました。これからは、山に向かった東西の避難路の確保・充実や夜間訓練、抜き打ち訓練などのほか、行政にも呼びかけ、研修なども実施していきたいと思っています。



【防災一言アドバイス】

・地域あげての防災活動は絶対に必要です。なんといっても、いざという時、頼りになるのは、隣・近所の輪！

平成13年9月27日、政府の地震調査委員会が、「南海トラフの地震の長期評価」と題し東南海地震と南海地震の発生可能性予測を公表しました。

この長期評価によれば、今後30年以内に、東南海地震が50%、南海地震が40%の確率で発生し、その可能性は年々高まってきているとされています。その規模も、東南海地震がマグニチュード8.1前後、南海地震がマグニチュード8.4前後、同時に2ヶ所で発生した場合はマグニチュード8.5前後になると予測されています。そのエネルギーは、阪神・淡路大震災を引き起こした兵庫県南部地震より30倍も強く、また揺れは1〜2分間も続くと言われています。

従来から、この東南海・南海地震は、その発生周期が約100年〜150年といわれ、マスコミなどでも度々話題にはなっていました。公的な機関が初めて正式に地震発生の可能性に言及したことで、一気に現実味を帯びてきました。これだけ大きい地震なのですから、当然、その被害も甚大なものと予想されます。家屋などの倒壊はもとより、648kmにも及ぶ海岸線を有する和歌山県にとって一番怖いのが津波です。地震の規模が規模だけに、波高が5m前後の巨大津波が地震発生後約10分で次から次へと襲ってくる予測されています。

「まだまだ先の話...なんてことはありません。明日にも巨大地震が起る可能性は十分あります。これを機に、家庭や職場で、また学校での話題にしてください。それこそが防災の第一歩につながってゆくのですから。」

東南海・南海地震は いついつ起る

日本列島の西側とヨーロッパやアジアなどの陸地を乗せた大陸地殻(ユーラシア・プレート)とフィリピン海プレートの太平洋岸にかけての海を乗せた海洋地殻(フィリピン海プレート)が串本町海岸の沖合約100km(南海トラフ)でぶつかっています。

フィリピン海プレートがユーラシア・プレートの下に年間4〜5cmずつ潜り込んでいきます。ユーラシア・プレートは下へ引きつれるのを我慢しているのですが、これが100年もたつてくると、潜り込みが4〜5mにもなり我慢の限界がきて、一気に跳ね上がります。

これが東南海・南海地震が発生する仕組みです。

過去の東南海・南海地震における和歌山県の被害状況

地震発生/生年月日	地震の名称	区分	死者・行方不明	家屋全壊	トラフの位置による区分
1498.9.20	明応東海地震	地震	多数		東南海地震
1605.2.3	慶長地震	地震		700	東南海・南海同時発生
1707.10.28	宝永地震	地震	688	681	東南海・南海同時発生
1854.12.23	安政東海地震	地震	60	約1万	東南海地震
1854.12.24	安政南海地震	津波	699		南海地震
1944.12.7	昭和東南海地震	地震	51	121	東南海地震
1946.12.21	昭和南海地震	津波	269	153	南海地震
		地震		969	
		津波		325	

防災の力ギは 「語り継ぐこと」

日高広域消防本部で消防署長を務める弓場研二さんは、平成7年の阪神淡路大震災をきっかけに、自分が育った印南町の地震と津波について、約2年の歳月をかけて、地震学会の専門資料や先人の記録や文献などを調べ、「知っていますか?地震と津波」という防災啓発資料を作成しました。

この資料で、一番強調したかったのは、印南町では、宝永の地震の津波で300人以上の人が亡くなっているにもかかわらず、その147年後の安政の地震では亡くなった人がいなかったという事です。これは驚くべき事実で、なぜなのかというところ調べた結果、住民がいち早く高台に逃げたことが功を奏したということがわかりました。高台に逃げたのは当然なのですが、なぜ逃げられたのでしょうか。それは、宝永の地震での悲惨な記憶「揺れたら逃げる」ということが代々語り継がれ、この見事な避難につながったのです。

古い資料の中には、宝永地震の当時12歳の子どもの手記などもあり、その中には、「もし、大地震が揺ったら早く山へ逃げなされよ!」と書かれており、子どもにまで筆をこらせたぐらいの子供心にも凄まじいものだったでしょう。



先人が、自分たちの子孫が被害に遭わないようにとの願いを込めて地震の記録を事細かに残してくれたんだと思います。この先人の思いを現在の私たちが受け止め、語り継いでいくことが大事なんです。

【防災一言アドバイス】

防災の取り組みは、まず足下を見つめ直すという意味でも、わが家、わが地区、わが町における地震や津波の過去を知ることから始めましょう。そして、語り継いでいくことです。

国をあげての地震対策が始動

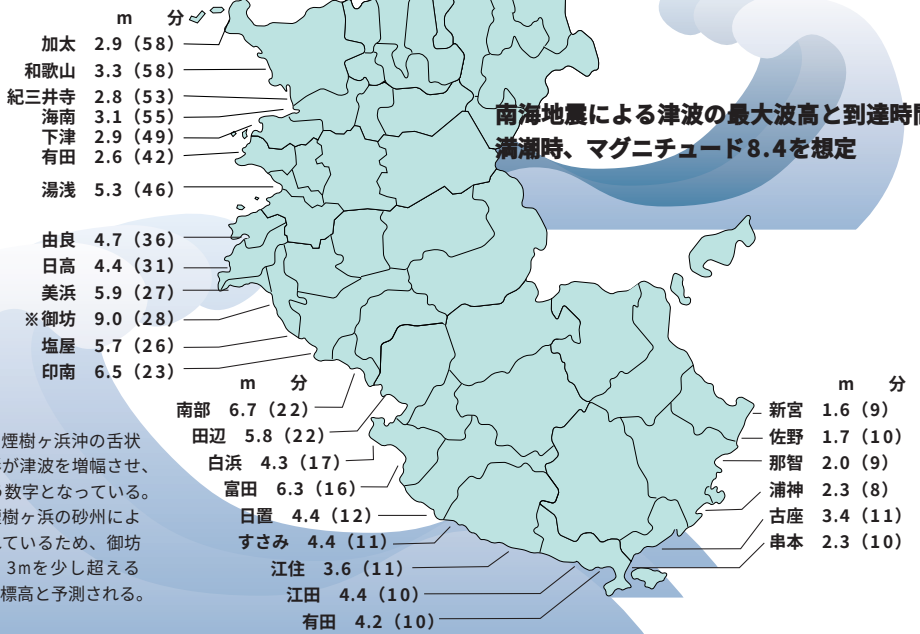
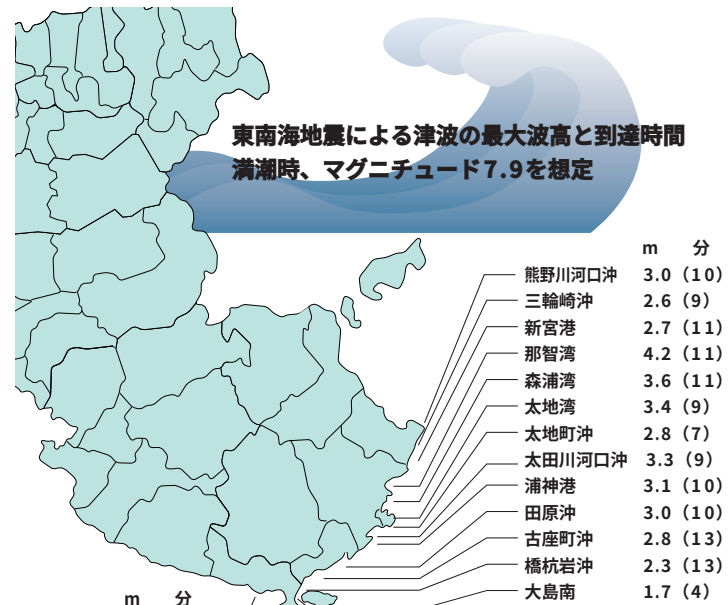
東南海・南海地震対策 特別措置法が成立

去る7月19日、和歌山県が先頭になって要望していた東南海・南海地震対策特別措置法が異例の早さで成立しました。この法律が成立したことにより、今後、防災対策推進地域の指定による防災施設の整備や観測体制の強化など、国をあげての東南海・南海地震対策が行われることになりました。

県内全域の沿岸部に 巨大津波が押し寄せます

東南海・南海など海溝型の地震は、プレートが海底で跳ね上がるため、そのプレートの上にある海水が持ち上がり、四方へ広がった波が沿岸部に達します。これが津波が発生する仕組みです。

東南海地震、南海地震それぞれの発生を想定すると、県内の津波の高さと到達時間は左図のようになります。(到達時間は地震発生時から時間)



巨大津波から 身を守るために

巨大な津波から身を守るためには、「逃げる」方法と「防ぐ」方法があります。県では、この「逃げる」方法、すなわち避難するために、避難路や避難場所の確保や避難訓練などソフト・ハード面での安全対策などへの支援を行うとともに、「防ぐ」方法として、津波防波堤の整備などハード対策にも取り組んでいます。

ソフト対策...ハザードマップ作成支援、自主防災組織の育成、津波避難訓練・災害対策訓練・防災総合訓練の実施などハード対策...

津波防波堤の整備(湯淺広港防波堤850m、平成10年度着工、平成22年度完成予定)・特定利用斜面保全事業(那智勝浦町権の浦防災公園)がけ崩れなどを防止する急傾斜地崩壊対策事業と併せた津波避難地確保

津波予報は気象台が発信する 重要情報ナンバーワン

テレビを見ている時に、「〇〇時〇〇分頃、〇〇地方で地震が発生しました。各地の震度は次のとおりです...」といった地震情報が流れます。どうしてあんな短時間で全国の情報把握できるんでしょうか?和歌山地方気象台の野澤武志さんと中野雅公さんに観測の舞

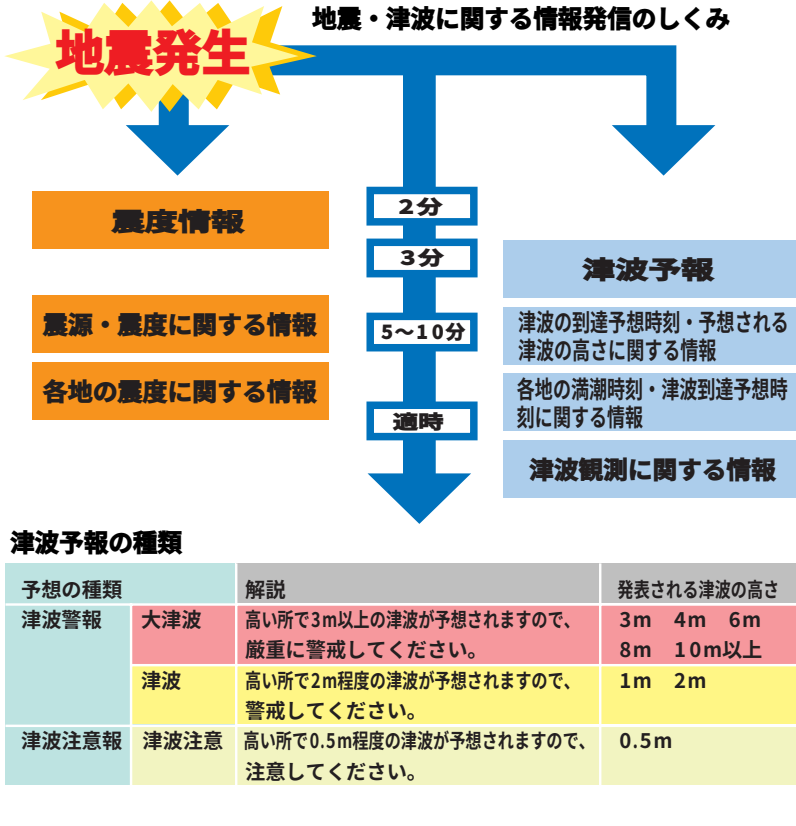


台を教えてくださいました。

気象台では地震発生時、震度、マグニチュードの大きさ、震源地などの発表に加え、津波予報や津波の到来時期、高さなどの津波情報を観測・発信しています。県内での震度観測は、50地点で震度計などにより24時間体制で監視しています。この震度観測データは、専用回線によりリアルタイムに東京の気象庁に送られ、全国の気象台や防災関係機関、報道機関を通じて、正確な情報を皆さんにお知らせする一方、政府の地震調査委員会などへ情報提供を行っています。

実は、気象台で最も優先度が高い情報が津波予報です。震源とマグニチュードが判明すれば地震発生から4分以内には津波予報を出すことができます。

地震発生時に、よくテレビなどで即時に、「津波の心配はありません」と出ますが、あれは、震源地が陸上部かマグニチ



予想の種類	解説	発表される津波の高さ
津波警報	高い所で3m以上の津波が予想されますので、厳重に警戒してください。	3m 4m 6m 8m 10m以上
津波	高い所で2m程度の津波が予想されますので、警戒してください。	1m 2m
津波注意報	高い所で0.5m程度の津波が予想されますので、注意してください。	0.5m

地震のときの心得

- テーブルや机の下に身を隠し、あわてて外に飛び出さない
- 落ち着いて火の始末
- テレビやラジオをつけて地震の情報を
- 自動販売機やブロック塀のそばには近づかない
- 山崩れ、がけ崩れに注意
- 避難は徒歩で、荷物は最小限に
- 余震が起きてもあわてず正しい情報に従って
- 不意の地震に、日頃の用意

津波に対する心得

- 強い地震(震度4程度)を感じたとき又は弱い地震であっても、長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難する。
- 地震を感じなくても、津波警報が発表されたときは、直ちに海浜から離れ、急いで安全な場所に避難する。
- 正しい情報をラジオ、テレビ、広報車などを通じて入手する。
- 津波注意報でも、危険なので海水浴や磯釣りはしない。
- 津波は繰り返し襲ってくるので、警報、注意報解除まで気をゆるめない。

問い合わせ 県庁消防防災課 ☎073(441)2262

時…期日・時間
対…対象・資格
問…問い合わせ

場…場所・会場
費…費用
抽…希望者多数の場合抽選

定…定員
申…申込・応募方法

和歌山県のホームページは <http://www.wakayama.go.jp/>

県庁・県教育委員会への郵便は 〒640-8585 (県庁専用郵便番号、住所記入不要) ○○○課あて

電話は ☎073(432)4111



募集

県立医大病院(紀北分院を含む)助産師・看護師

対 有資格者、資格取得見込者
定 93人程度
申 9月24日までに医大総務課
問 医大病院看護部長室
☎073(447)2300、紀北分院看護部長室☎0736(22)0066

県立五稜病院 看護師

対 有資格者、資格取得見込者
定 3人程度
申・問 9月24日までに県立五稜病院総務課☎0737(52)3221

平成15年度公立学校校長・教頭募集内容・人数

ア 県立高等学校長、県立特殊教育諸学校長、公立小学校長、公立中学校長 各1人

イ 県立高等学校又は県立特殊教育諸学校教頭 1人

対 次のすべての要件に該当すること。校長は、①地方公務員法第16条及び学校教育法第9条の欠格条項に該当しないこと、②昭和20年4月2日～昭和30年4月1日に生まれた人、③県内のどの地域にでも勤務できること、④日本国籍を有すること。教頭は、①～④の要件に加え、学校教育法施行規則第8条の「教育に関する職」に10年以上あったこと(ただし、現職の教諭は除く)。

募集要項配布 9月9日(月)に県教育委員会教職員課、各地方教育事務所で配布

問 県教育委員会教職員課

県女性相談所の夜間・休日電話相談員

対 電話相談員資格、カウンセリング資格、又は女性相談所等で婦人保護事業に携わった経験のある方 若干名(面接あり)

申 9月20日までに県女性相談所へ履歴書を持参又は郵送〒641-0021和歌山市和歌浦東3-6-46

問 申込先☎073(447)0004

女性エンパワーメント技術講習

科目 パソコン(日商日本語文書処理技能検定3級受験)等

時 11月8～29日の毎週月～金曜及び12月1日(日)の計17日間
すべて9:30～15:30

場 県男女共生社会推進センター(和歌山ビッグ愛9階(和歌山市))

定 20人(初心者に限る)
費 テキスト代、検定料自己負担
申 10月2～3日に会場へ本人来所(官製ハガキ1枚持参)

問 会場☎073(435)5245

障害者・高齢者ホームヘルパー養成研修3級課程

時 10月1～25日のうち9日間
場 ウェルハートピア南紀田辺(田辺市)

費 3,400円(テキスト代)
定 50人 **抽**

申 往復ハガキに住所、氏名、生年月日、電話番号を記入し、9月2～17日に県地域介護普及センター研修課〒646-0012田辺市神島台6-1

問 申込先☎0739(22)6589

ガイドヘルパー養成研修

対 現在ホームヘルパーとして従事している方、ホームヘルパー養成研修修了者、介護福祉士

時・場 重度視覚障害者研修課程
11月25～27日＝和歌山市
12月10・11・19日＝田辺市

重度脳性まひ者等全身性障害者研修課程

11月25・28・29日＝和歌山市
定 各40人 **抽**

申 9月27日までに各市町村役場
問 県庁障害福祉課

県立医大看護短大部公開講座

テーマ 「痴呆について」

時・場 ①9月28日(土)13:30～
那智勝浦町体育文化会館

②10月19日(土)13:30～
県立医大看護短大部(和歌山市)

申 ハガキ、FAXに住所、氏名、電話番号を記入し、県立医大看護短大部〒641-0011和歌山市三葛580 FAX073(446)6720

問 申込先☎073(446)6700

口腔衛生研修会

時 ①10月24日(木) 13:30～
②10月27日(日) 13:30～

場 県障害児(者)・高齢者歯科口腔保健センター研修室(和歌山ビッグ愛内(和歌山市))

対 障害のある方・高齢者及びその家族各回20人(先着順)

申 ハガキに住所、氏名、電話番号、希望日を記入、又は電話で9月30日までに県歯科医師会☎073(428)3411、県庁医務課

問 申込先

県農業大学校 園芸技術研修

時 10月16日～翌年2月21日

対 概ね60歳未満の本県において就農を希望する方で、原則として農業大学校へ通い、受講が可能な方 若干名

申 所定の申込書及び必要書類を10月2日までに同大学校

問 申込先☎0736(22)2203

熊野古道大辺路リレーウォーク

時・場 ①9月29日(日)＝富田坂(白浜町～日置川町)12.5km

②10月20日(日)＝仏坂(日置川町～すさみ町)15.5km

※かつての日置川の「安居の渡し」に代わる歩道を県が新たに整備

③11月10日(日)＝長井坂(すさみ町)13.8km

④12月1日(日)＝休平(峠)・市屋峠(那智勝浦町)8.0km

⑤12月15日(日)＝串本町内めぐり 7.0km

定 各500人

費 1,000円(受付場所→スタート地点、ゴール地点→最寄り駅・駐車場までバス運行)

申 ハガキ、FAX、Eメールに①～⑤の希望コース(複数可)と、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、①は9月20日、②は10月4日、③は10月25日、④は11月15日、⑤は11月29日までに南紀熊野21協議会西牟婁分局「リレーウォーク」係〒646-8580田辺市朝日ヶ丘23-1、FAX0739(26)7968、Eメールkumano21@mb.aikis.or.jp

問 申込先☎0739(26)7965

都市緑化フェア

時 10月20日(日)10:00～16:00

場 紀三井寺公園(和歌山市)

＊緑化教室(講義)は13:00～

＊ガーデニングコンクール参加

希望の方は9月24日～10月4日に県庁都市整備課へ申し込む(植木鉢又はコンテナに限る)

＊ウォークラリー、草木の販売等

問 県庁都市整備課

犬のしつけ方教室

時 講義 9月25日(水) 14:00～

実技 10月9日(水) 午後
(実技のみの受講は不可)

場 県動物愛護センター(野上町)

対 県内在住の成人20人(先着順)

申・問 会場☎073(489)6500

消防設備士講習

時・場

10月17日(木)＝西牟婁振興局

10月18日(金)＝東牟婁振興局

10月23日(水)・28日(月)・31日(木)、

11月1日(金)・6日(水)＝県民文化会館(和歌山市)

対 消防設備士免状取得後2年以上又は前回受講後5年以内の方

申 10月1～3日に県庁消防防災課、各振興局地域行政課

問 県庁消防防災課

消防設備点検資格者(資格取得)講習

時 第1種 12月4～6日

第2種 12月11～13日

場 県民文化会館(和歌山市)

申請書配布 県庁消防防災課、各振興局地域行政課、各消防本部、消防本部未設置の町村役場

申 10月15～25日に県庁消防防災課へ持参又は郵送

問 県庁消防防災課

環境カウンセラー(環境省)

自らの経験を生かして住民や事業者の取組に対し助言を行う人材の登録制度

対 環境保全に関する取組について豊富な実績、経験を有する方

申 9月30日までに(財)日本環境協会☎03(3508)2651

問 申込先、県庁環境生活総務課

三大学共同公開講座

和歌山大、県立医大、高野山大
テーマ「豊かな地域づくりに貢献する大学の未来像」

時 ①9月28日(土) 13:00～
②10月12日(土) 13:30～
③10月19日(土) 13:30～

場 ①②は県立医大、③は和大大

定 各100人

申・問 電話又はFAXで住所、氏名、電話番号、受講希望日を県立医大総務課☎073(441)0710、FAX073(441)0713

＊一時保育あり(定員10人)

高等教育機関コンソーシアム和歌山後期リレー講座

時・テーマ ①10月5日「形状や強度を瞬間的に計る新技術」

②11月30日「県特産の果物・野菜の機能性」

③12月14日「乾燥食品製造システムの環境負荷評価」

④1月11日「ガンに対する免疫遺伝子治療の将来展望」

⑤2月8日「社会需要開拓による起業」

すべて土曜日14:00～

場 和歌山ビッグ愛(和歌山市)

定 各100人(先着順)

申・問 和歌山大学生涯学習教育研究センター「リレー講座」係☎073(427)4623

新たなビジネスプラン

次代の県経済をリードするようなビジネスプランを「企業ソムリエ委員会」で評価し、選定企業に効果的な支援を実施します。

対 県内に主たる事業を設置もしくは今後設置しようとしている中小企業等

申・問 県庁新産業室

肢体不自由児教育研修会

時 9月24日(火) 13:30～16:50

場 県立南紀看護学校(上富田町)

申・問 会場☎0739(47)2118

宅地分譲

10月1日から追加区画を販売

①岩出紀泉台(岩出町)

追加販売 6区画

既販売 17区画

②貴志川長山団地(貴志川町)

既販売 3区画

③新宮蜂伏団地(新宮市)

追加販売 7区画(市立医療センター前)

既販売 67区画

申・問 ①②は県土地開発公社☎073(448)1832、

③は同新宮駐在☎0735(31)5460



「県廃棄物処理計画(素案)」に対するご意見募集

県では、廃棄物の減量・適正処理を進め、循環型の社会をつくるための基本方針となる計画を検討中です。

この計画の素案について、県民のみなさんのご意見を募集しています。

＊個別に回答はしません

素案の配布場所 県庁地域環境課、各振興局衛生環境課

(県のホームページでも掲載しています)

意見の提出方法 郵送、FAX、Eメールにより、住所、氏名又は会社・部署名、年齢、職業を記入し、9月20日までに県庁地域環境課 FAX073(441)2685

Eメール ishii_n0001@office.wakayama.go.jp

問合せ 県庁地域環境課☎073(441)2696

9/24～30 結核予防週間

結核は、過去の病気ではありません。今も、高齢の結核患者の増加や学校・施設での集団感染といった問題が起っています。

まずは、結核について正しい知識を持つことが大切です。不安なことや、わからないことがあれば、気軽にご相談ください。

問 県庁健康対策課、各保健所

9月は障害者雇用促進月間
「障害者 自立への和 雇用の輪」

問 県庁労政能力開発課

9月	1日	2月	3火	4水	5木	6金	7土	8日	9月	10火	11水	12木	13金	14土	15日	16月	17火	18水	19木	20金	21土	22日	23月	24火	25水	26木	27金	28土	29日	30月	
10月	1火	2水	3木	4金	5土	6日	7月	8火	9水	10木	11金	12土	13日	14月	15火	16水	17木	18金	19土	20日	21月	22火	23水	24木	25金	26土	27日	28月	29火	30水	31木



空の日フェスタ2002

航空機展示、管制塔見学会、航空教室、○×クイズ大会等

時 9月7日(土) 10:30～

場 南紀白浜空港(白浜町)

問 南紀白浜空港管理事務所
☎0739(42)2348

「10/1浄化槽の日」関連行事

浄化槽の維持管理講習会やミニチュア等の展示会

時・場 田辺会場＝10月9日(水)

13:00～ ガーデンホテルハナヨ

和歌山会場＝10月10日(木)

13:00～ 和歌山ビッグ愛

問 県浄化そう協会☎073(431)6291、県庁地域環境課

近畿地区高等学校通信制生徒生活体験発表大会

時 10月6日(日) 12:30～

場 県立図書館(和歌山市)

問 陵雲高校☎073(422)8402

動物愛護フェスティバル

講演 「目の不自由な方と盲導犬」、犬のしつけ方教室、動物ふれあい広場等

時 10月13日(日)13:00～16:00

場 きびドーム(吉備町)

問 県獣医師会☎073(436)4529、県庁生活衛生課

児童扶養手当

対 離婚や父の死亡などで父と生計を同じくしていない児童、父が一定の障害の状態にある児童
※手当の支給要件に該当した日から5年を経過した場合は請求

できなくなります。

※今年8月から、手当額や所得制限限度額、所得の範囲が改正されています。

問 各市町村役場、各振興局健康推進課、県庁子育て推進課

①特別児童扶養手当

②特別障害者手当

③障害児福祉手当

対 ①20歳未満で中程度以上の身体障害、知的障害、精神障害のある児童を、在宅で養育・監護している父母等 ②20歳以上の在宅の障害者で、国民年金法1級程度の障害が重複するなど著しく重度の障害のある方 ③20歳未満の在宅で重度の身体障害、知的障害、精神障害のある児童(いずれも所得や障害の程度による支給制限あり)

問 各市町村役場、各振興局健康福祉部、県庁障害福祉課

終戦後、外地からの引揚時に預った通貨・証券等の返却

問 和歌山税関支署☎073(428)3881～3、同新宮出張所☎0735(31)5258、大阪税関監視部総括部門☎06(6576)3115

戦傷病者等の妻の方への特別給付金

●平成5年4月2日以降に戦傷病者等と婚姻された妻、又は同日以降に後重症により第5款症以上の戦傷病者等となった方の妻であって、平成13年4月1日において戦傷病者等である夫が第5款症以上の増加恩給等を受けていた方

●平成8年5月に最終償還を迎え

た戦傷病者等の妻に対する特別給付金の受給権を取得した妻であって、戦傷病者等である夫が平成5年4月1日から平成8年9月30日までの間に公務傷病以外の原因により死亡(平病死)した方

請求期限 平成16年9月30日

問 各市町村役場、県庁社会福祉課

「法の日」よろず無料相談会

時 10月7日(月) 10:00～16:00

場 和歌山市役所 14階大会議室

問 県不動産鑑定士協会

☎073(432)7466

就業構造基本調査へのご協力を

就業・不就業の状態を調べる統計調査のため、9月下旬から調査員が対象となった世帯にお伺いします。ご協力ください。

問 県庁統計課



県資格免許職等職員採用

時 11月10日(日)

場 県立医科大学(和歌山市)

試験区分・採用予定人数

①保健師 1人程度

②栄養士 4人程度

対 昭和38年4月2日以降に生まれた方で、各試験区分ごとに必要な免許所持者又は来春取得見込み者

願書配布 県人事委員会事務局、

県パスポートセンター、各振興局県民行政部総務課、海草振興局建設部海南工事事務所、東牟婁振興局串本建設部、県東京事務所、県大阪観光センター

申 郵送＝9月27日～10月11日

持参＝10月7～11日に県人事委員会事務局

問 申込先☎073(441)3763

県立高等技術専門校入校生

時 10月25日(金) 9:30～

対 高校卒業(見込)者等

願書配布 各高等技術専門校、

公共職業安定所

申 10月1～11日に各校

体験入校 9月14日(土)

問 和歌山高等技術専門校

☎073(477)1253

田辺高等技術専門校

☎0739(22)2259

新宮高等技術専門校

☎0735(31)7329

危険物取扱者

種類 乙種4類、丙種

時 11月10日(日) 9:30～

場 和歌山工業高校(和歌山市)

願書配布 県庁消防防災課、各振興局地域行政課、各消防本部、(財)消防試験研究センター和歌山県支部

申 10月1～4日に(財)消防試験研究センター和歌山県支部

問 申込先☎073(425)3369

採石業務管理者

時 10月11日(金) 10:00～

場 県水産会館(和歌山市)

願書配布 県庁砂防課、各振興局建設部

申 9月13～20日に県庁砂防課

へ持参又は郵送

問 願書配布場所

砂利採取業務主任者

時 11月8日(金) 10:00～

場 県民文化会館(和歌山市)

願書配布 9月24日から県庁河川課、各振興局建設部

申 10月1～11日に県庁河川課へ持参又は郵送

問 願書配布場所



歴史を繰り返さないために

～ハンセン病と人権～

ハンセン病は、結核菌と同じ抗酸菌の一種「らい菌」の感染によって発病する感染症で、皮膚と末しょう神経が侵されます。神経障害による顔や手足の変形や、遺伝により発病するといった間違った風評などにより、患者は偏見や差別を受けたばかりか、明治40年に制定された「らい予防法」により、へき地や離島などの療養所へ強制的に隔離収容されました。

第二次大戦後、有効な治療薬により完治することがわかり、国際的にも患者隔離が否定されていたにもかかわらず、わが国ではその対応が遅れ、平成8年ようやくこの法律が廃止され、昨年、国が隔離政策の誤りを認め、元患者に謝罪しました。

法律が廃止され、また政策の誤りが認められたからといって、この問題が解決したわけではありません。元患者の皆さん一人ひとりの「これまでの」、そして「これからの」人生は未だ何も解決されていないのです。現在でも、和歌山県出身の元患者41人が群馬、東京、岡山の国立療養所に入所されています。そのほとんどの方々は、和歌山に帰郷することもできず、そしてまた家族との連絡も途絶えたままになっているのです。

何故、帰郷できないのでしょうか？それは、未だに差別や偏見がなくなっていないからです。後遺症に過

木村知事が国立療養所
邑久光明園・長島愛生園
(岡山県)を訪問、納骨堂
に献花



ぎない顔や手足の変形、つまり「外見」が偏見を生み、それが差別の要因のひとつになっています。今日、わが国ではハンセン病の発病率は低く、また仮に発病したとしても、その感染力はきわめて弱く、適切な治療により完治することから、新規患者は、結核などと同じように、一般医療機関で診療が行われているのです。もちろん遺伝する病気でもないのです。

ハンセン病を正しく理解しさえすれば、そこには差別や偏見が生まれるはずもありません。県外の療養所で暮らす同郷の皆さんが気軽に帰郷できるように、そして県内に在住されている元患者の皆さんの「心」を癒すため、さらには誤った歴史を繰り返さないためにも、県民一人ひとりがこのハンセン病を正しく理解することが必要なのです。

問い合わせ 県庁健康対策課 ☎073(441)2643

秋の全国交通安全運動

9/21～30



運動の重点

①高齢者の交通事故防止

②シートベルトとチャイルドシートの着用の徹底

③安全確認の励行

交通安全フェアわかやま2002

子どもから高齢者まで共に遊び体験しながら交通安全を学ぶ

時 9月21日(土)13:00～16:00

(荒天時は9月23日に順延)

場 県立和歌山交通公園・交通センター(和歌山市)

問 県庁県民生活課

J A S法の改正について

J A S法(農林物資の規格化及び品質表示の適正化に関する法律)により、生鮮食品には「名称」「原産地」等、加工食品には「名称」「原材料名」「内容量」「保存方法」「賞味期限」「製造者」を表示することとなっています。今回の改正で、違反に対する刑罰が強化されました。食品関係業者のみなさんは正しい表示を行い、消費者が安心して食品を購入できるようにしましょう。

	改正前	改正後
罰金	50万円以下	法人1億円以下、 個人100万円以下
懲役	なし	1年以下

問 県庁果樹園芸課

催し

県立近代美術館 ☎073(436)8690

■特別企画展 9月21日～11月4日
『山本容子の美術遊園地』 銅版画等約300点を紹介

片男波公園 万葉館 ☎073(446)5553

■企画展「紀伊万葉～花鳥風月～」 10月3日～
万葉集に詠まれた情景の写真展(写真家 牧野貞之氏)

紀伊風土記の丘 ☎073(471)6123

■子ども歴史クラブ 9月14日(土) 13:00資料館受付
古墳時代の塩づくり(対象は小学生)■特別展「紙すきの山里」 9月28日～11月24日
手すき和紙の製作技術と和紙を使った生活用具を紹介

植物公園緑花センター ☎0736(62)4029

■キノコを楽しもう(観察会)※ 9月23日(祝)

■庭木のせん定と手入れ※ 9月29日(日)

■親子木工教室 10月13日(日)

■秋のネイチャーゲーム※ 10月14日(祝)

■キノコ展 9月21日(土)～23日(月)

※は事前申込必要

和歌山県公館 一般開放

日 時 9月22日(日)、10月6日(日) 10:00～16:00

交 通 「曙橋」バス停下車 ※駐車場はありません

問合せ 県庁管財課☎073(441)2214

お気軽にどうぞ

交通事故相談 ☎073(441)2359

【常設相談】月～金曜日(東牟婁振興局☎0735(22)8551
水曜日を除く) 場所/県庁交通事故相談所、東牟婁振興局【弁護士による相談】●県庁交通事故相談所 9月30日(月)、
10月7日(月) 受付/13:00～14:00 ●東牟婁振興局
9月20日(金)、10月4日(金) 受付/正午まで(電話予約
必要)【巡回相談】●伊都振興局 9月25日(水) ●西牟婁振興局
10月9日(水) 受付/11:00～15:00

県民相談 ☎073(441)2356

【常設相談】月～金曜日 場所/県庁県民相談室

【弁護士による相談】①9月24日(火) ②10月4日(金)

③10月15日(火) 場所/県庁県民相談室
電話予約受付/①9月17日(火)～ ②9月25日(水)～
③10月7日(月)～(各先着16人)

【移動相談】①9月17日(火) 御坊市・財部会館

②10月3日(木) 九度山町・ふるさとセンター

電話予約/①日高振興局☎0738(24)2936

②伊都振興局☎0736(33)4900(各先着10人)

警察の電話相談

犯罪や暴力、交通事故などの被害について悩みの
ある方は、早めにご相談くださいブッシュ回線の電話、公衆電話、携帯電話、PH
Sからは・・・局番なしの #9110

アナログ回線の電話からは・・・

073(432)0110又は最寄りの警察署

市町村合併
ニュース

①「田辺広域合併協議会」が設置されました

7月23日、法律に基づく協議会を設立

田辺市、龍神村、中辺路町、大塔村、上富田町、
日置川町、すさみ町(白浜町はオブザーバー参加)

②合併重点支援地域に指定しました

県は、8月1日県内で4番目となる合併重点支
援地域を指定橋本市、かつらぎ町、高野口町、九度山町、高野
町、花園村

問合せ 県庁市町村課合併推進室☎073(441)2196

情報公開制度を充実します

10月1日から、県の主な外かく団体に対して、
文書等の開示を求めることができます。

詳しくは、県庁総務学事課、県ホームページで

わがやま
北南NEWS

和歌山県漁業取締船「みさき」完成!

和歌山県
NPOサポートセンター

お気軽にご利用ください!

県内のNPO活動を支援するため、7月14日「和歌山県NPOサポートセンター」を開設しました。

施設の概要

作業スペース	印刷機、コピー機、長尺プリンター(以上有料)、 紙折り機、電動パンチ(以上無料)の利用
閲覧・相談 スペース	NPO関係刊行物の閲覧 活動等についての相談
情報スペース	掲示板、メールボックス、パソコンの利用 (無料)
会議・交流 スペース	最大利用人数30名程度の会議室の利用 (無料・利用日の3ヶ月前から電話予約受付)

開館時間 平日 9:00～21:00/土・日曜日 9:00～17:00

休 館 日 毎週水曜日、祝日、年末年始

問 合 せ 和歌山県NPOサポートセンター

〒640-8319和歌山市手平2-1-2 和歌山ビッグ愛6階

☎073(435)5424 FAX073(435)5425

Eメール info@wakayama-npo.jp

ホームページ http://www.wakayama-npo.jp



青少年の家

パラグライダー体験

日程 10月5～6日

(1泊2日)

会場 紀北青少年の家

(かつらぎ町)

対象 中学生～一般40人(抽)

(身長・体重制限あり)

費用 11,890円～12,810円

申込 電話、FAX、ハガキで9月20

日までに会場

ネイチャーライフinきほく・秋

さつまいも収穫、野外炊事など

日程 10月19～20日(1泊2日)

会場 紀北青少年の家(かつらぎ町)

対象 小学4年生～中学生40人(抽)

費用 2,500円

ハガキ・FAXで申し込む場合

参加者全員の住所、氏名、年齢(学年)、電話番号、保護者名、希望講座名
を記入してください。

申込・問合せ先

紀北青少年の家 〒649-7112 かつらぎ町中飯降1317-3

☎0736(22)5530 FAX0736(22)5531

白崎青少年の家 〒649-1123 由良町大引961-1

☎0738(65)2351 FAX0738(65)2352

潮岬青少年の家 〒649-3502 串本町潮岬669

☎0735(62)6045 FAX0735(62)0182

青少年活動指導者養成講座

青少年活動(野外・自然・環境・レク
リエーション等の活動)に関心のあ
るボランティアを養成日程 10月～翌年3月の月1回程度
(土・日曜日)

費用 無料(交通費・資料代自己負担)

会場 各青少年の家(3会場)

対象・定員 16～30歳の方
各会場5人(選考)申込 電話で各会場、各振興局県民
行政部総務課、青少年育成市町村
民会議、各青少年団体

問合せ 県青少年育成協会

☎073(435)5236

第35回 和歌山県民文化祭

91の催しを網羅した「県民文化祭総合リーフレット」
を、県庁文化国際課、各振興局県民行政部総務課、
各市町村役場、県民文化会館・紀南文化会館などの
公立文化施設等で配布中です。
ぜひ多くの催しにご参加ください。

総合的なご案内

県庁文化国際課 ☎073(441)2052

※催しの一部をご紹介します
和歌山県新人演奏会

日 時 9月29日(日) 13:00

会 場 県民文化会館(和歌山市)

入場料 1,000円

スロヴァキア室内オーケストラ &
鮫島有美子

日 時 10月10日(木) 19:00

会 場 県民文化会館(和歌山市)

入場料 S席5,000円 A席3,500円
B席2,000円